



鋼板ユニット式「ハト小屋」
ハットボックス
納入仕様書

受領印

発行日 2023年7月14日

ワールド工業株式会社

承認	作成
	

改訂記録

改訂番号	内容	発行日
11	P3 「1-3-1 使用可能地域」風圧力による設置基準を変更 高さ制限 45m とし、超えるものは協議	2023 年 7 月 14 日
10	P3～ オプションを表記 事前穴加工 1-4-1 へ移動、現場穴加工、庇、勾配台座追加 P6 蓋構造追加 P7 製品図面 製品図面は別紙「標準仕様図」に変更	2023 年 6 月 5 日
9	P2 各定着カラー最小中心間距離を表記	2022 年 11 月 1 日
8	P5～ 埋設仕様図追加 P36 蓋のエアキャップ梱包廃止 P38 納品後すぐに開梱注意追加、梱包例追加	2022 年 6 月 1 日
7	全般 HB-F6, F4, F2 の製造中止により対象商品を削除 施工条件に「木造」追加、 付属品追加	2021 年 11 月 1 日
6	全般 対象製品の拡充・廃止により HB-SS1, HB-SS2, HB-SS3 を追加し、HB-A6、HB-V6、HB-H6 を削除 P3 「1-5 施工条件」を「コンクリート埋設設置」「乾式断熱屋根設置」「あと施工設置」に分けて記載。あと施工設置のみの限定は解除 P16 HB-Q6 の配管箱仕様を変更し、下部取り出しノックアウト穴を廃止し、下部取り出し加工範囲を設定 P6～P18 仕様図書式変更と対象製品の拡充・廃止により図面変更 改定に伴い本文を全 31 頁から全 28 頁に変更	2020 年 6 月 17 日
5	客先用個別内容の追加、内容非公開	2019 年 10 月 2 日
4	P2 「1-4 配管箱穴加工基準」の規定値変更 P3 「2-1-2 裏面断熱材」を新設 P22 高温注意ステッカーを配管箱 4 面左上に貼付け済みに変更 P23 「4 事前穴加工」事前穴加工の指定寸法の指示を納品日の 30 日前までに変更 P9～P15 製品図面を新版に更新（製品寸法に変更なし） P32 本社住所変更により住所、電話番号、FAX 番号を変更	2019 年 7 月 1 日
3	連結モデル HB-S2HJ、HB-S2HW を追加 S シリーズの蓋に補強棧を追加し多雪地に対応 2019 年 6 月出荷分より S シリーズ蓋を上記仕様に変更 上記の改定により全面改訂	2019 年 4 月 9 日
2	P3 「1-5 配管箱穴加工基準」の誤記訂正 P20「オプション品」の項目を 3-3 に変更 P20 4 項を「事前穴加工」に変更し内容を追記	2019 年 1 月 29 日

1	図面修正に伴い P9~P12 の図面差し替え (HB-S1、S1H、S2、S2H 台座固定用穴位置修正)	2019 年 1 月 9 日
0	初版発行	2018 年 12 月 25 日

目次

1	概要	2
1-1	適用範囲	2
1-2	適用規格	2
1-3	ハットボックス使用基準	2
1-3-1	使用可能地域	2
1-3-2	使用協議地域	2
1-4	オプション	3
1-4-1	事前穴加工	3
1-4-2	現場穴加工	3
1-4-3	庇	4
1-4-4	勾配台座	4
1-5	施工条件	5
2	製品仕様	5
2-1-1	主な構成部品・材質	5
2-1-2	裏面断熱材	5
2-2	材料外観	5
2-3	めっきの推定耐用年数	5
2-4	蓋構造	6
2-5	寸法・重量・図面	7
2-5-1	最大外形寸法	7
2-5-2	重量	7
2-6	製品図面	7
3	付属品	8
3-1	付属品数量一覧	8
3-2	付属品名称	9
4	工程管理	10
5	検査体制	11
5-1	自主検査体制	11
5-2	寸法許容差及び判定基準値	11
5-3	製造ロットの規定	11
5-4	検査ロットの規定	11
5-5	出荷検査	11
5-6	トレーサビリティ	11
5-7	出荷検査成績書	12
6	梱包	13
6-1	梱包基準	13
6-2	荷扱い注意事項	15
7	納品	15
8	保証書	16

1 概要

1-1 適用範囲

陸屋根の建物で、配管類が屋根スラブを貫通するとき防水層を保護するために設ける、鋼板ユニット式「ハト小屋」ハットボックス（以下ハットボックス）に適用します。特許取得商品〔特開 2015-078746〕のため、他用途への転用は禁止します。

1-2 適用規格

積雪荷重：建築基準法施行令 第 86 条により特定行政庁が規則で定める数値による

風圧力：平成 12 年 5 月 31 日建設省告示第 1454 号による

耐震力：建築設備耐震設計・施工指針 2014 年による

1-3 ハットボックス使用基準

1-3-1 使用可能地域

非塩害地区で下記条件を満たす地域

積雪荷重：

- ・ SS1H・SS2H・SS3H・S1・S1H・S2・S2H・S2HJ・S2HW：（多雪地対応モデル）

垂直方向の最大許容荷重：6000N/m²（等分布荷重）

積雪の単位荷重=30N/cm/m²以下で垂直積雪量=200cm以下の区域

- ・ Q6

垂直方向の最大許容荷重：1800N/m²（等分布荷重）

積雪の単位荷重=20N/cm/m²で垂直積雪量=90cm以下の区域

風圧力：許容引張強度：1.48kN×引張力を負担するアンカー本数

許容せん断強度：1.14kN×せん断力を負担するアンカー穴数

風圧による力が上記強度以下での設置とし、設置する建物高さは

設計監理者様の見解により設定してください。

<推奨値>

水平方向の最大許容荷重：8.243kN/m²

基準風速 60m/秒以下の地方、地表面粗度区分：II, III, IVの区域で建物高さ 45m以下
建物高さ 45mを超える場合は事前協議が必要です。

※計算例の詳細は設計ガイド9頁「7-3風圧力」を参照してください

耐震力：制限なし

1-3-2 使用協議地域

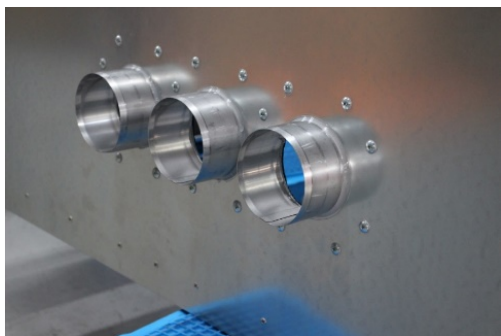
- ・ 1-3-1で規定した地域以外や塩害地区に設置する場合は事前協議が必要です。

1-4 オプション

1-4-1 事前穴加工

指定寸法により、事前穴加工を行い、定着カラーやダクト用アングルの装着を行います。

・定着カラー（SUS 製）



・ダクト用アングル（ZAM 製）



納品日の30日前までに加工面、加工穴位置、穴寸法と定着カラー、アングルの取付方向（配管箱内側、外側）等を事前にご指定いただき加工いたします。

加工料金が別途発生します。配管箱に貫通孔をあける場合は製品図面で指示された指定範囲内で加工してください。

・配管箱穴加工基準

配管箱に貫通孔をあける場合は製品図面で指示された指定範囲内で加工してください

・事前穴加工で標準定着カラーを取り付ける場合の最小中心間距離は下表となります。

	φ 75	φ 100	φ 125	φ 150	φ 175	φ 200
φ 75	155	180	180	205	205	230
φ 100		205	205	230	230	255
φ 125			205	230	230	255
φ 150				255	255	280
φ 175					255	280
φ 200						305

・その他、配管箱に貫通孔をあける場合の最小中心間距離ルール

貫通孔直径の1.5倍以上または貫通孔直径+50mm以上の少ない方を最小中心間距離ルールとします。

※定着カラー、フランジ等の干渉を考慮し検討してください。

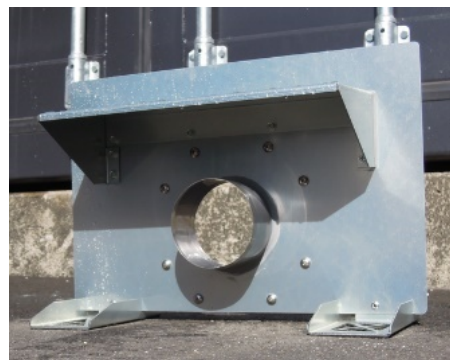
1-4-2 現場穴加工

現場にて穴加工する場合、ワールド工業支給材の定着カラーを含む部品一式を取り付けてください。同梱の作業手順書を参照願います。

1-4-3 庇

現場にて雨避け用の庇を設置する場合、ワールド工業支給材の庇と取付け用の部品一式で取り付けてください。同梱の作業手順書を参照願います。

(注意) 穴加工の位置により装着できない場合があります。



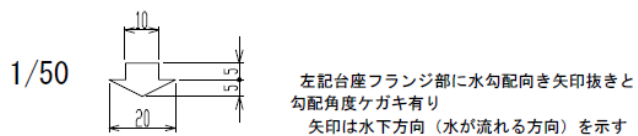
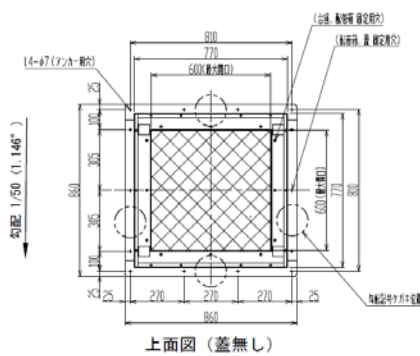
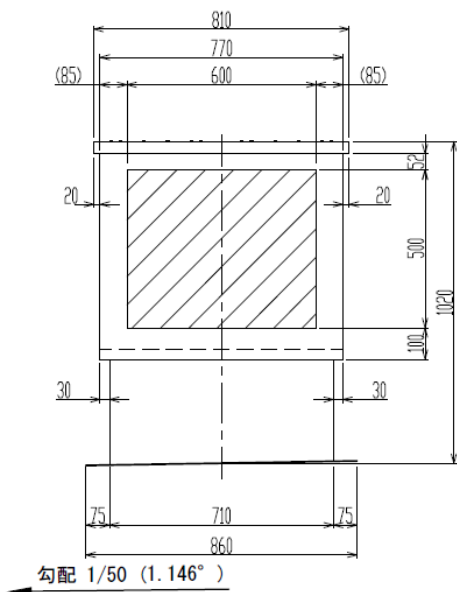
1-4-4 勾配台座

屋根スラブ面の水勾配に合わせて台座に勾配をつけています。

対応機種 : S1, S1H, S2, S2H, SS2H, SS3H

勾配 : 1/100, 1/75, 1/50

下図は HB-S1 の勾配 1/50 の台座の例を示す。



1-5 施工条件

施工手順ガイドを参考に施工を行ってください。搬入、設置、防水、施工に関しては弊社の保証対象外となります。商品は指定場所での車上渡しとなります。

[コンクリート埋設設置]

施工手順ガイド（P8 参照）を参考に、各現場に合わせ設計・施工してください。

強度確保の為、台座は最低 30mm 以上埋めてください。また、付属のレベルアンカーで高さを調節し、RC への食い込み固定の為に付属の全ての埋設アンカーを設置してください。

※床補強が必要となる場合がありますので事前にご確認ください（施工手順ガイド P9 参照）

[あと施工設置]

施工手順ガイド（P10 参照）を参考に以下の条件を守り施工してください。

- ・オールアンカー FT-640 は付属数をすべて打ち込んでください。
- ・コンクリート強度は $F_c=18\text{N/mm}^2\sim 30\text{N/mm}^2$ で使用してください。

穿孔穴あけドリル径は 6.4mm を使用してください。穿孔深さは $46\text{mm}\pm 3\text{mm}$ とします
へりあき寸法は最小 50mm、アンカーピッチは最小 100mm とします

下穴は垂直に穿孔し、必ず切粉を吸引・清掃してからアンカーを挿入して下さい

- ・ALC パネルへの設置の場合、設置場所の制限等があるため事前協議が必要です

[乾式断熱屋根設置]

施工手順ガイド（P11 参照）を参考に各現場に合わせ設計・施工してください。

[木造]

施工手順ガイド（P12 参照）を参考に各現場に合わせ設計・施工してください。

[共通事項]

- ・配管穴加工可能範囲を守り、貫通孔間の寸法を確保して下さい（1-4-1 参照）
- ・配管箱の配管穴、定着カラー、開口部などは十分な防水処理を施して下さい
- ・配管箱及び蓋の取付けは、付属品を使用して適切に締め付けてください

2 製品仕様

2-1 主な構成部品・材質

2-1-1 蓋、配管箱、台座

材料：JIS G3323 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯
日新製鋼（ZAM®）または、新日鐵住金（スーパーダイマ®）

厚み： $t=1.6\text{mm}$

めっき付着量：表示記号 K27 両面 3 点平均最小付着量 275g/m^2

2-1-2 裏面断熱材

材料：エアロフレックス MSR-03N 厚み $t=3\text{mm}$

製品内面に断熱材を貼付け結露対策とします

2-2 材料外観

シルバー ※時間の経過とともに表面の光沢が低下する、いわゆる黒変現象により変色します

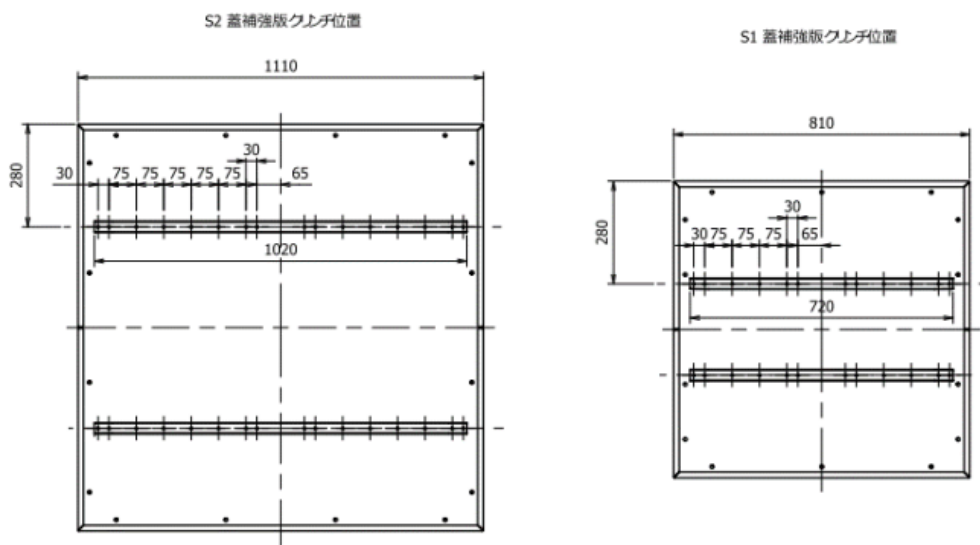
2-3 めっきの推定耐用年数

・めっきの推定耐用年数は、実験値を基にした計算結果により 21.2 年と推定します

※製品の耐用年数の保証値ではありません。上記の計算結果は、標準環境屋外（雨水が直接当たる場合）で ZAM 鋼板の暴露試験結果からめっきの腐食減量を $3\text{g}/\text{m}^2/\text{年}$ とし、「鉄骨造建築物の耐久性構造技術」（建設大臣官房技術室監修）の垂鉛めっきの標準耐用年数計算式を用い算出した結果です

2-4 蓋構造

- ・ S シリーズ (S1、S1H、S2、S2H、S2HJ、S2HW) を多雪地（垂直積雪量 200cm 以下）に対応させるため蓋裏面に補強リブをクリンチかしめで接合する。（2019 年 6 月以降出荷分より対応）
- ・ 補強リブ形状：蓋稜線方向に 2 本の補強リブを裏面にクリンチかしめで接合



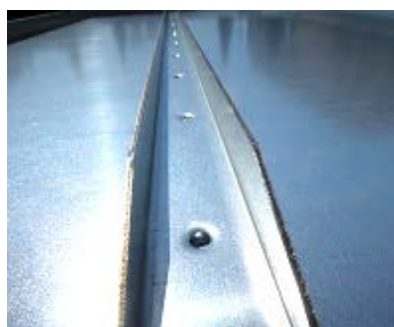
[S2 全体]



[S2 蓋上面 接合凸部]



[S2 蓋裏面]



[S2 蓋裏面 接合凹部]

2-5 寸法・重量・図面

2-5-1 最大外形寸法（突起を除く）

単位：mm

型式	W	×	D	×	H	型式	W	×	D	×	H
HB-SS1H	560	×	560	×	810	HB-S2	1160	×	1160	×	1020
HB-SS2H	810	×	560	×	810	HB-S2H	1160	×	1160	×	1110
HB-SS3H	1110	×	560	×	810	HB-S2HJ	1290	×	1160	×	1110
HB-S1	860	×	860	×	1020	HB-S2HW	1420	×	1160	×	1110
HB-S1H	860	×	860	×	1110	HB-Q6	1240	×	750	×	955

2-5-2 重量

単位：kg

型式	蓋	配管箱	台座	総重量
HB-SS1H	6	12	16	34
HB-SS2H	8	16	20	44
HB-SS3H	10	19	24	53
HB-S1	11.1	32	21	64.1
HB-S1H	11.1	32	24.5	67.6
HB-S2	19.4	44	29	92.4
HB-S2H	19.4	44	33.5	96.9
HB-S2HJ	19.4	44	44.5	107.9
HB-S2HW	19.4	44	55	118.4
HB-Q6	12	33	22	67

2-6 製品図面

製品図面は、別紙「標準仕様図」を参照願います。

3 付属品

3-1 付属品数量一覧

HB-SSシリーズ

		SS1H	SS2H	SS3H
蓋取付ボルト		8	10	10
配管箱取付ボルト		8	8	10
台 座 固 定 用	あと施工：アンカー FT-640	10	12	12
	埋設施工：レベルアンカー	4	4	4
	埋込アンカー	6	8	8
	木造：タイトハイロー	10	12	12
高温注意ステッカー		4	4	4

HB-Q6仕様

		Q6
蓋取付ボルト		16
配管箱取付ボルト		12
台 座 固 定 用	あと施工：アンカー FT-640	16
	埋設施工：レベルアンカー	4
	埋込アンカー	12
	木造：タイトハイロー	16
高温注意ステッカー		4

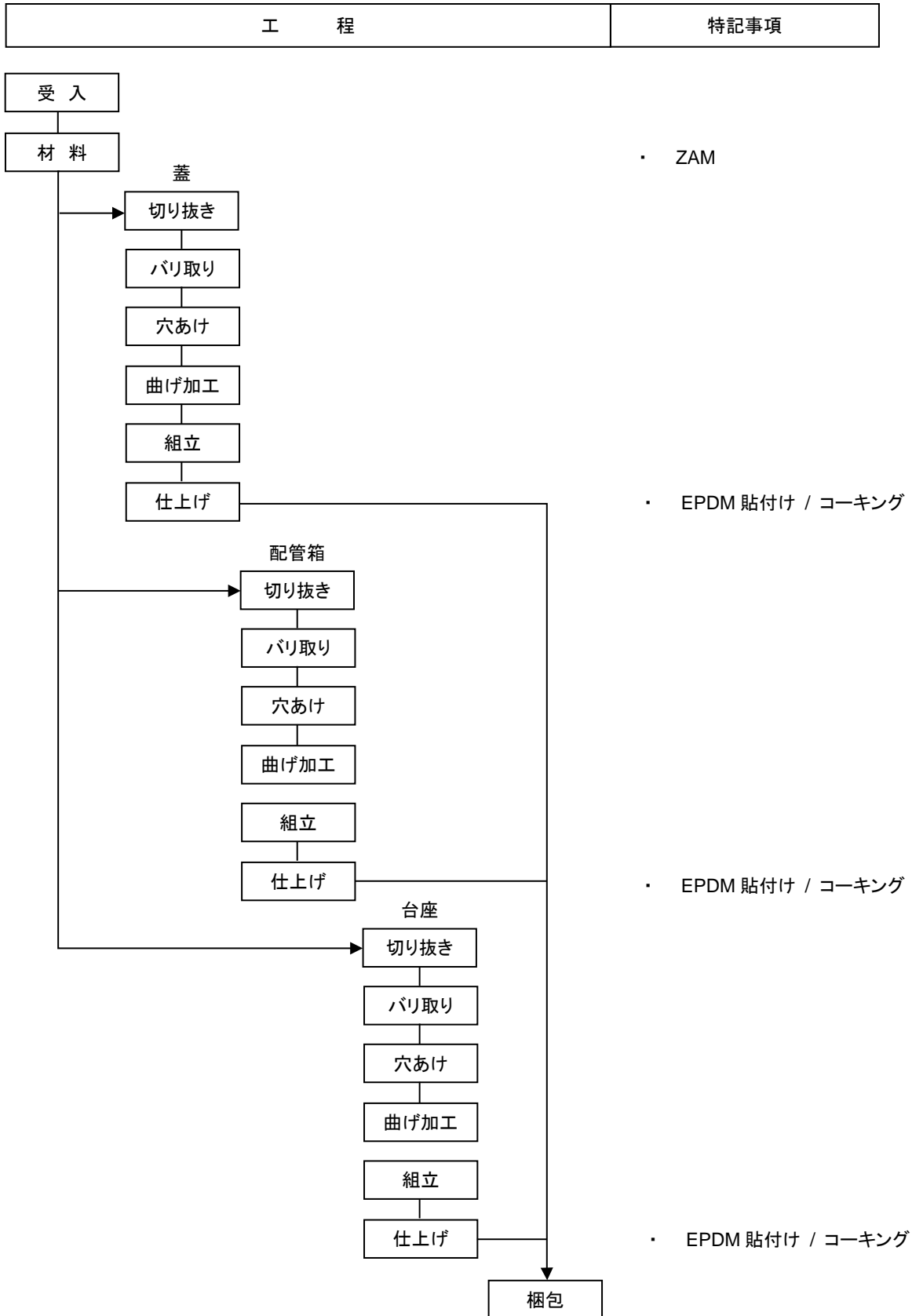
HB-Sシリーズ

		S1	S1H	S2	S2H	S2HJ(方連結)	S2HW(両連結)
蓋取付ボルト		14	14	16	16	16	16
配管箱取付ボルト		12	12	16	16	16	16
台 座 固 定 用	あと施工：アンカー FT-640	12	12	16	16	15	14
	埋設施工：レベルアンカー	4	4	4	4	4	4
	埋込アンカー	8	8	12	12	11	10
	木造：タイトハイロー	12	12	16	16	15	14
連結ボルト		-	-	-	-	1	2
高温注意ステッカー		4	4	4	4	4	4

3-2 付属品名称 ※施工方法により付属品は異なります。

<p>蓋取付ボルトセット：蓋の固定に使用します。</p>	
<p>配管箱取付用ボルトセット：台座と配管箱を固定するボルトセットです。 台座にはブラインドナットが固定されています。</p>	
<p>あと施工アンカー：FT-640 台座固定に使用します。</p>	
<p>埋設アンカーボルトセット：埋設施工時の埋込アンカーとして使用します。</p>	
<p>埋設レベルアンカーセット：埋設施工時の台座固定で、高さ・角度調整に使用します。</p>	
<p>木造取付ビス：SUS タイトハイロー 6x50 台座固定に使用します。</p>	
<p>連結ボルトセット：連結モデル（HB-S2HJ, S2HW）の台座連結に使用します。（連結モデルにのみ付属）</p>	
<p>高温注意ステッカー：注意喚起ステッカーです。配管箱4面左上に貼付け済みで出荷されます。</p>	

4 工程管理



5 検査体制

5-1 自主検査体制

工程	検査項目	検査方法	検査頻度	合否判定基準
切り欠き	切り欠き寸法	ノギス	全数	図面寸法
バリ取り	バリ除去	目視	全数	バリなきこと
曲げ加工	曲げ寸法	ノギス	全数	図面寸法
穴あけ	穴位置寸法	ノギス	全数	図面寸法
組立	欠品	目視	全数	図面による、欠品ないこと
仕上げ	コーキング塗布状態	目視	全数	ムラのないこと
仕上げ	EDPM 取付	目視	全数	スキが無いこと

5-2 寸法許容差及び判定基準値

(JIS B 0405 1991)

単位mm

公差等級	0.5 以上 3 以下	3 を超え 6 以下	6 を超え 30 以下	30 を超え 120 以下	120 を超え 400 以下	400 を超え 1000 以下	1000 を超え 2000 以下	2000 を超え 4000 以下
c 粗級	±0.2	±0.3	±0.5	±0.8	±1.2	±2	±3	±4

5-3 製造ロットの規定

1 日の生産完成品を製造ロットと定義する。

5-4 検査ロットの規定

製造ロットに対して、検査は全数検査を実施する。

5-5 出荷検査

製品 1 台毎に出荷検査を行い、出荷検査成績書を 5 年間保管する。

5-6 トレーサビリティ

現品票を付け、製造日、出荷予定日、品名、および御社 出荷No.、指図No.、案件名を表示して追跡を可能にする。

ハットBOX 出荷検査成績書

台

年 月 日

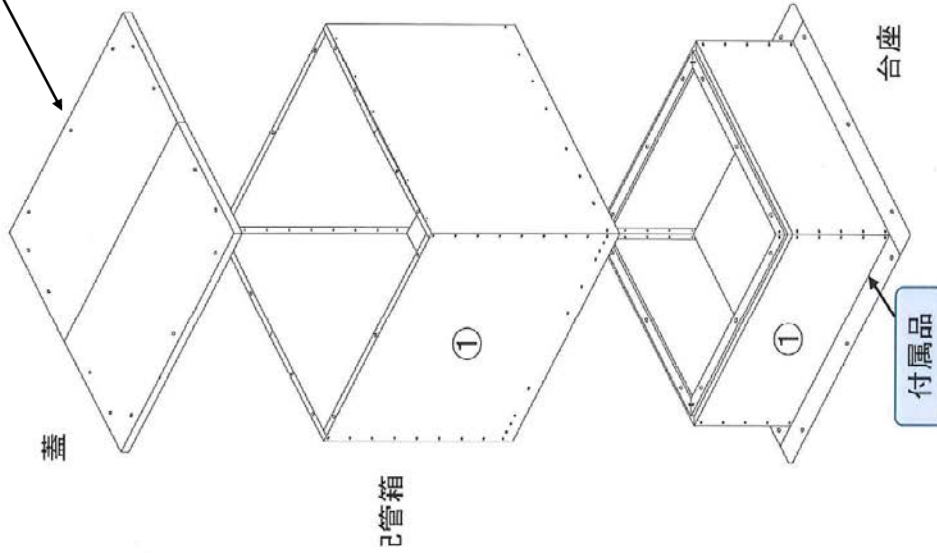
得意先		出荷日	
支店		工事No.	
現場名	様邸	注文No.	
製品名		受注No.	
材質		製番	
検査項目	仕様	数量	判定基準
蓋本体(現品票)			表示内容
断熱材			隙間なく貼ってあるか
蓋 KBSリベット			
配管箱本体(現品票)			表示内容
配管箱 KBSリベット			防錆スプレー・浮きがないか
HATboxs ステッカー			曲がりがないか
コーキング			ムラなく溝に塗布されているか
断熱材			隙間なく貼ってあるか
台座本体(現品票)			表示内容
台座下部寸法			図面寸法
台座 KBSリベット			防錆スプレー付いているか確認
台座 POPリベット			凸が無いこと
コーキング			ムラなく溝に塗布されているか
断熱材			隙間なく貼ってあるか
工程別注意点			台座と配管箱に添付
台座・配管箱取付け穴位置			合わせて穴位置確認
蓋・配管箱取付け穴位置			合わせて穴位置確認
取り付け状態			変形・隙間
蓋取付用ボルトセット			
配管箱取付用ボルトセット			
台座用アリンコトラス			
オールアンカー			
梱包状況確認			* PPバンド・添付書類
* 添付書類・・・注意事項、注意ラベル、付属品在中			
総合判定	常務	品質保証	検査
OK ・ NG			

6 梱包
6-1 梱包基準

- ・ 梱包は蓋を除いてエアキャップ梱包とする。ただし宅配便の場合は段ボール梱包もあり。

※蓋の穴には一時保管時の
雨侵入を防ぐ為養生してあります。


施工時は剥がしてください



HB-S型

【エアキャップ梱包前】

- ① 台座設置から蓋設置までの注意点をあげています
あと施工用と埋設用の2種類あります

ハットボックス工程別注意点 (あと施工)			
1. 台座設置		<ul style="list-style-type: none"> 台座設置時、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。 台座設置後、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。 台座設置後、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 台座設置時、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。 台座設置後、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。 台座設置後、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。
2. 配管箱設置		<ul style="list-style-type: none"> 配管箱設置時、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。 配管箱設置後、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。 配管箱設置後、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 配管箱設置時、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。 配管箱設置後、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。 配管箱設置後、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。
3. 蓋設置		<ul style="list-style-type: none"> 蓋設置時、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。 蓋設置後、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。 蓋設置後、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 蓋設置時、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。 蓋設置後、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。 蓋設置後、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。
4. 付属品設置		<ul style="list-style-type: none"> 付属品設置時、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。 付属品設置後、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。 付属品設置後、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 付属品設置時、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。 付属品設置後、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。 付属品設置後、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。

※施工時に不明点がある時は現場所長に必ず確認!!

ハットボックス工程別注意点 (埋設施工)			
1. 台座設置		<ul style="list-style-type: none"> 台座設置時、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。 台座設置後、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。 台座設置後、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 台座設置時、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。 台座設置後、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。 台座設置後、必ず現場に設置する台座の型番を確認してください。
2. 配管箱設置		<ul style="list-style-type: none"> 配管箱設置時、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。 配管箱設置後、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。 配管箱設置後、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 配管箱設置時、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。 配管箱設置後、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。 配管箱設置後、必ず現場に設置する配管箱の型番を確認してください。
3. 蓋設置		<ul style="list-style-type: none"> 蓋設置時、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。 蓋設置後、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。 蓋設置後、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 蓋設置時、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。 蓋設置後、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。 蓋設置後、必ず現場に設置する蓋の型番を確認してください。
4. 付属品設置		<ul style="list-style-type: none"> 付属品設置時、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。 付属品設置後、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。 付属品設置後、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 付属品設置時、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。 付属品設置後、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。 付属品設置後、必ず現場に設置する付属品の型番を確認してください。

※施工時に不明点がある時は現場所長に必ず確認!!

HB-S型

【エアキャップ梱包後】



②



③



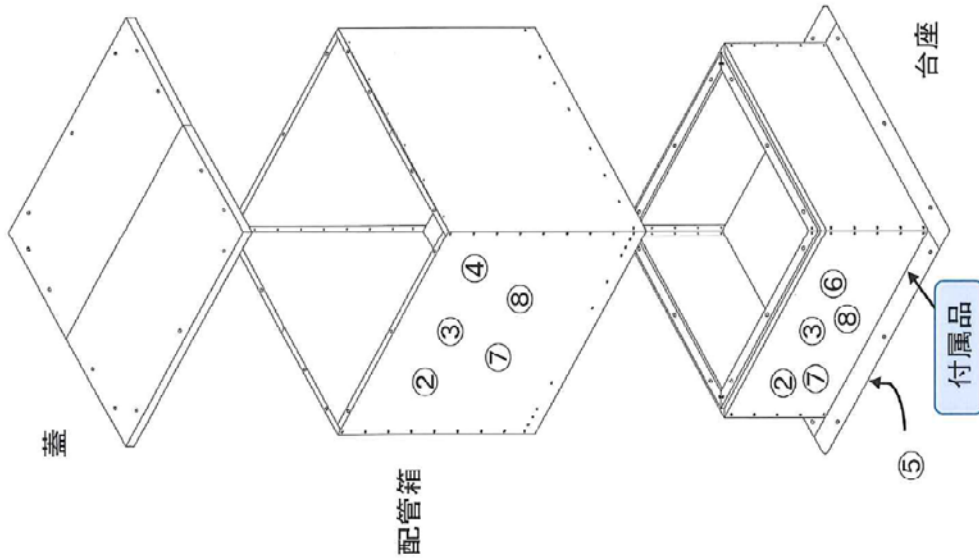
④

この面は
スラブ面です

⑤

付属品
在中

⑥



⑦

品名	
ロット No.	

現品票

⑧

注意事項

変色の要因とは異なりますので、
納入後、速やかに梱包材を
取り外して、水はけの良い
場所に保管して下さい。

- ・投げない
- ・重積物を載せない
- ・ぶつけない
- ・立てかけて置かない

製品の破損や打傷・変色の原因になります

※ 重ねて保管する場合は
台座を下に配管箱を置き直して下さい

蓋・配管箱

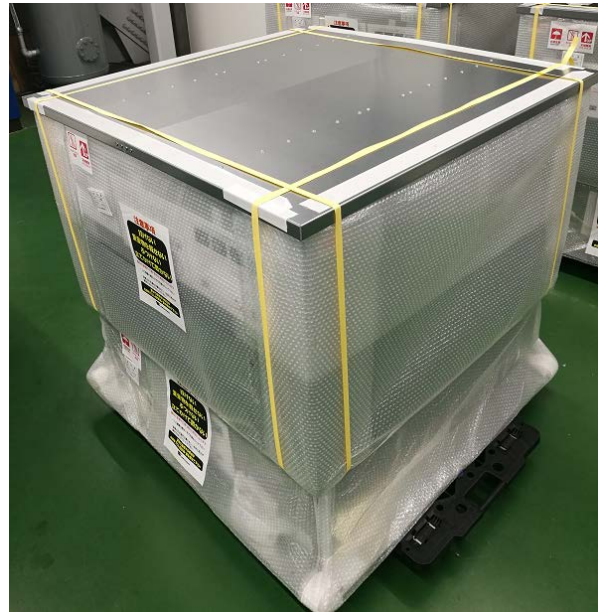
②・③・④・⑦・⑧ 添付

台座

②・③・⑤・⑥・⑦・⑧ 添付

[梱包例]

- ・配管箱と蓋はPPバンドで固定します。
- ・荷姿は 台座と配管箱+蓋の2個口となります。
- ・納品後はすぐに梱包を解いて下さい。
部分的に濡れた状態で保管すると、
本体表面に色ムラが発生する場合があります。
- ・付属品は台座に同梱していますので、
開梱時に紛失しない様に保管願います。



6-2 荷扱い注意事項

- ・納入後速やかに梱包材を取り外す
- ・水濡注意
- ・カッターナイフ使用注意
- ・落とさない
- ・ぶつけない
- ・投げない
- ・重量物を載せない
- ・立てかけて置かない
- ・付属品の紛失注意
- ・天地無用

7 納品

指定場所での車上渡しとする

※納品後はすぐに梱包箱を開梱してください。

部分的に濡れた状態で保管しますと、本体表面に色ムラが発生する可能性があります。

保証書

この度は当社製品「HATbox」を導入いただきまして有り難うございます。

「HATbox」は当社の厳密な製品検査に合格した製品です。

お客様の正常なご使用状態のもとで万一故障した場合、下記の保証規定により故障個所の修理をさせていただきますので、当社、又は代理店へ速やかにお申し出ください。

保証期間は当社出荷日より10カ年といたします。

<保証の範囲>

製品本体(蓋、配管箱、台座)とオプション品のみとし付属品は除く。

なお、保証期間内に於いても次の場合には有償修理となります。

- 1: 製品本体に記載されたロット No.の提示のない場合。
- 2: 本保証書を当社、又は当社代理店の承認無く変更された場合。
- 3: 製品引き渡し後の設置工事に起因する製品の故障。
- 4: お客様による移設、改造、修理等お客様によるお取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
- 5: 火災、地震、水害などの天災地変による故障、損傷の場合。
- 6: 当該製品取り付け時に、当社、又は当社代理店の指定した外部機器以外の機器の故障、又はそれに起因する故障の場合。
- 7: 当該製品の説明書に記載された使用方法及び注意事項に反するお取り扱いにより生じた故障、損傷の場合。
- 8: 通常の使用状態で生じた傷、汚れ等の外観上の変化。
- 9: 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する製品の故障。
- 10: 保証期間中に発生した故障について保証期間終了後に修理を依頼された場合。

ワールド工業株式会社

埼玉県比企郡嵐山町花見台 11 番 2 号

電話: 0493-61-1115 (ハットボックス事業部 直通)

FAX: 0493-62-1050